

発表事項

1 令和5事業年度事業状況及び決算

- (1) 審査支払会計及び保健医療情報会計等
- (2) 財政調整等特別会計（後期高齢者医療特別会計、退職者医療特別会計等）

2 令和5年度の支払基金の取扱状況

- (1) 診療報酬等確定状況（令和5年4月診療分～令和6年3月診療分）
- (2) 審査状況（令和5年5月審査分～令和6年4月審査分）
- (3) 特別審査委員会の審査状況（令和5年5月審査分～令和6年4月審査分）

3 令和6年4月審査分の審査状況

4 令和6年5月審査分の特別審査委員会審査状況

確定件数

- ・令和5年度の確定件数^{注1}は前年度より3.4%増加。これは、各法が9.7%減少したものの、インフルエンザの流行により、医療保険が7.5%増加したことによる。
- ・各法の9.7%の減少は、地方単独事業が21.9%増加したものの、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが5類感染症に変更されたことに伴い、感染症公費^{注2}が大幅（▲93.2%）に減少したことによる。
- ・診療種別別では従来から伸び率の高い訪問看護を除くと、インフルエンザの流行により、調剤の伸び率10.6%が高い。

■ 制度別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度増減率	令和5年度	対前年度増減率	対元年度増減率
医療保険	92,712 【80.7%】	83,121 【80.7%】	89,689 【79.1%】	95,973 【76.0%】	+7.0%	103,155 【79.1%】	+7.5%	+11.3%
各法	22,242 【19.3%】	19,832 【19.3%】	23,719 【20.9%】	30,246 【24.0%】	+27.5%	27,321 【20.9%】	▲9.7%	+22.8%
(再掲)地方単独事業	14,240	11,547	13,467	14,983	+11.3%	18,270	+21.9%	
(再掲)感染症公費	0.0435	446	2,164	6,957	+221.5%	474	▲93.2%	
総計	114,954	102,953	113,408	126,219	+11.3%	130,476	+3.4%	+13.5%

単位：万件

【 】は構成割合

■ 診療種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度増減率	令和5年度	対前年度増減率	対元年度増減率
医科	60,852 【52.9%】	54,020 【52.5%】	60,231 【53.1%】	68,562 【54.3%】	+13.8%	67,708 【51.9%】	▲1.2%	+11.3%
歯科	15,270 【13.3%】	14,564 【14.1%】	15,687 【13.8%】	16,002 【12.7%】	+2.0%	16,678 【12.8%】	+4.2%	+9.2%
調剤	38,650 【33.6%】	34,156 【33.2%】	37,242 【32.8%】	41,372 【32.8%】	+11.1%	45,760 【35.1%】	+10.6%	+18.4%
(再掲)食事・生活	837	762	796	785	▲1.4%	795	+1.3%	▲4.9%
訪問看護	181 【0.2%】	214 【0.2%】	248 【0.2%】	284 【0.2%】	+14.8%	330 【0.3%】	+16.1%	+81.9%
総計	114,954	102,953	113,408	126,219	+11.3%	130,476	+3.4%	+13.5%

注1) 令和5年度の確定件数とは、令和5年4月～令和6年3月診療分の再審査分等調整後の件数である。

注2) 感染症公費とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による新型コロナウイルス感染症に係る給付を行う公費（法別28）である。

注3) 平日の日数は、令和元年度が287日、令和2年度、令和3年度及び令和4年度が291日、令和5年度が290日

注4) 被用者保険の加入者数を前年同期と比べると、令和4年4月～令和5年1月平均では0.2%減、令和5年4月～令和6年1月平均では0.003%減であった。(出典：厚生労働省「最近の医療費の動向」)

確定金額

・令和5年度の確定金額^{注1}は前年度より3.7%増加。コロナ関連点数を除いた場合（推計値）は6.7%増加

単位：億円

【 】は構成割合

■ 制度別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年度増減率	対前年度増減率	対元年度増減率
医療保険	103,251 【79.6%】	99,766 【79.3%】	108,312 【79.7%】	114,861 【79.8%】	120,181 【80.5%】	+6.0%	+4.6%	+16.4%
各法	26,491 【20.4%】	26,019 【20.7%】	27,510 【20.3%】	29,162 【20.2%】	29,156 【19.5%】	+6.0%	▲0.02%	+10.1%
(再掲)地方単独事業	2,915	2,532	2,983	3,269	4,042	+9.6%	+23.7%	
(再掲)感染症公費 ^{注2}	0.6	357	1,234	2,430	565	+97.0%	▲76.8%	
総計	129,742	125,785	135,822	144,023	149,338	+97.0%	+3.7%	+15.1%

■ 診療種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年度増減率	対前年度増減率	対元年度増減率
医科	91,128 【70.2%】	87,436 【69.5%】	95,311 【70.2%】	101,631 【70.6%】	103,256 【69.1%】	+6.6%	+1.6%	+13.3%
歯科	12,015 【9.3%】	12,203 【9.7%】	12,839 【9.5%】	13,101 【9.1%】	13,547 【9.1%】	+2.0%	+3.4%	+12.8%
調剤	24,611 【19.0%】	23,996 【19.1%】	25,326 【18.6%】	26,748 【18.6%】	29,662 【19.9%】	+5.6%	+10.9%	+20.5%
食事・生活	1,038 【0.8%】	990 【0.8%】	974 【0.7%】	938 【0.7%】	942 【0.6%】	▲3.7%	+0.4%	▲9.3%
訪問看護	949 【0.7%】	1,161 【0.9%】	1,371 【1.0%】	1,604 【1.1%】	1,929 【1.3%】	+17.0%	+20.3%	+103.3%
総計	129,742	125,785	135,822	144,023	149,338	+6.0% (+3.9%)	+3.7% (+6.7%)	+15.1% (+11.7%)

注1) 確定金額とは、再審査分等調整後の金額である。

注2) 感染症公費とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による新型コロナウイルス感染症に係る給付を行う公費（法別28）である。

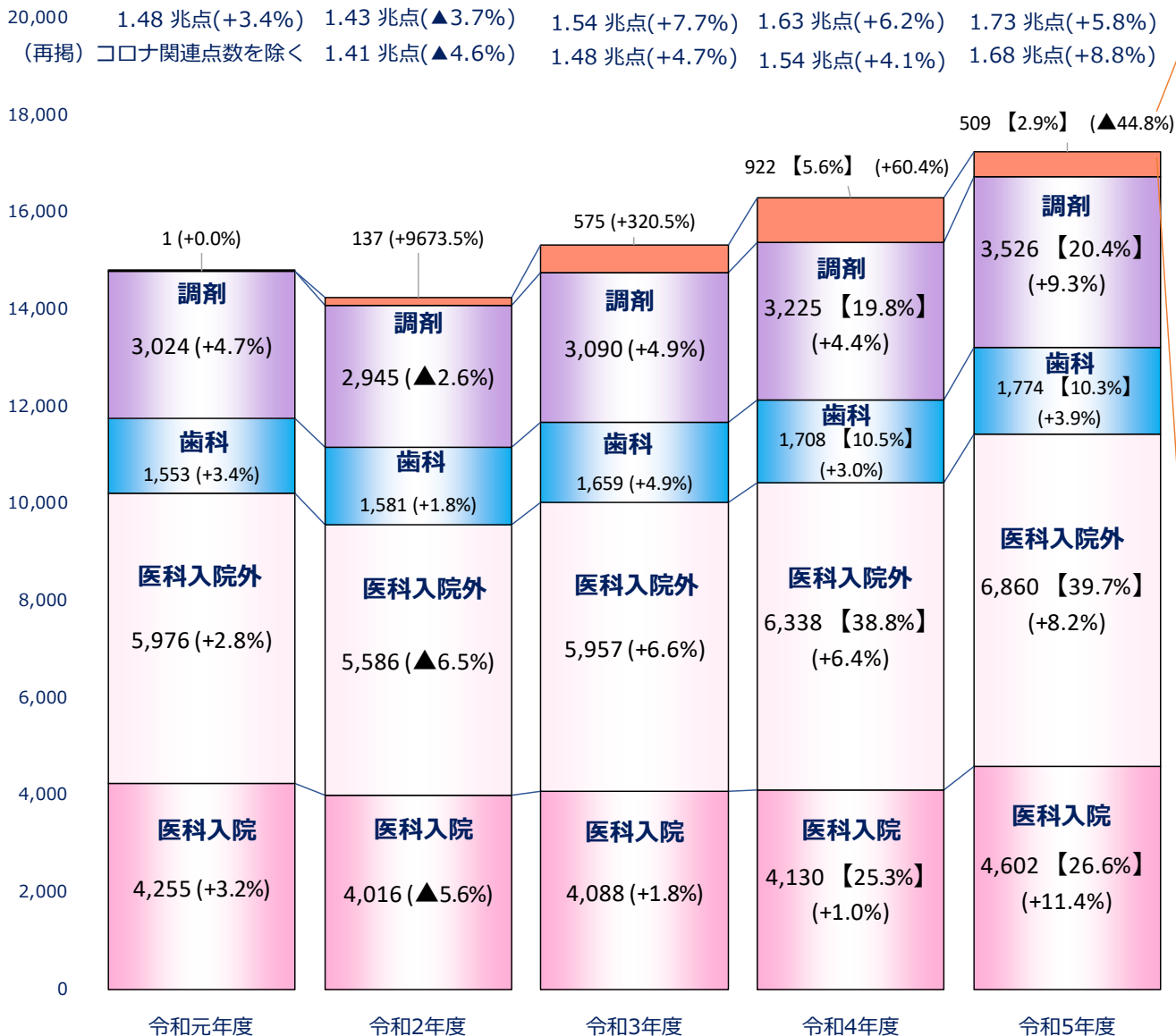
注3) 令和5年度の診療種別別対前年度及び対元年度増減率の（ ）の数値は、コロナ関連点数を除いた場合の増減率（推計値）である。

電子レセプトの総点数の推移

(億点)

【 】内の数値は構成割合

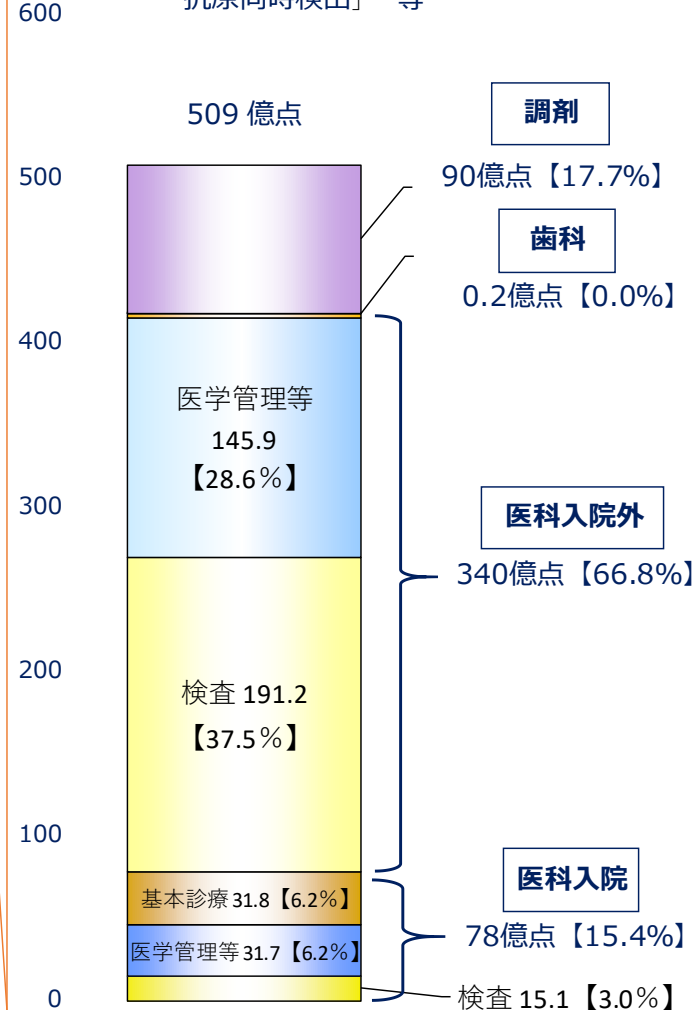
()内の数値は対前年度増減率



コロナ関連点数

- ・感染症公費の対象点数
- ・診療報酬上臨時的取扱点数

(億点) ・「SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出」等



電子レセプトの件数、日数及び点数

		合計	医科入院	医科入院外	歯科	調剤
件数 (万件)	令和元年度	64,514	855	50,471	13,188	32,371
	令和 2年度	58,264	770	44,921	12,573	28,957
	令和 3年度	62,798	794	48,485	13,520	31,227
	令和 4年度	66,580	785	51,958	13,837	33,952
	令和 5年度	70,619	834	55,373	14,411	37,568
	対前年度増減率	+6.1%	+6.2%	+6.6%	+4.1%	+10.7%
	対元年度増減率	+9.5%	▲2.5%	+9.7%	+9.3%	+16.1%
日数 (万日)	令和元年度	103,682	9,762	72,265	21,656	39,352
	令和 2年度	93,427	8,997	63,712	20,718	34,410
	令和 3年度	98,617	8,936	68,374	21,307	37,050
	令和 4年度	102,214	8,667	72,369	21,178	39,954
	令和 5年度	107,042	9,181	76,251	21,610	44,371
	対前年度増減率	+4.7%	+5.9%	+5.4%	+2.0%	+11.1%
	対元年度増減率	+3.2%	▲5.9%	+5.5%	▲0.2%	+12.8%
点数 (億点)	令和元年度	14,810	4,257	5,976	1,553	3,024
	令和 2年度	14,265	4,068	5,669	1,583	2,946
	令和 3年度	15,368	4,268	6,329	1,668	3,103
	令和 4年度	16,324	4,321	7,025	1,709	3,270
	令和 5年度	17,272	4,680	7,201	1,775	3,616
	対前年度増減率	+5.8%	+8.3%	+2.5%	+3.8%	+10.6%
	対元年度増減率	+16.6%	+9.9%	+20.5%	+14.3%	+19.6%
(再掲) コロナ関連点数を除く	令和元年度	14,809	4,255	5,976	1,553	3,024
	令和 2年度	14,128	4,016	5,586	1,581	2,945
	令和 3年度	14,794	4,088	5,957	1,659	3,090
	令和 4年度	15,402	4,130	6,338	1,708	3,225
	令和 5年度	16,762	4,602	6,860	1,774	3,526
	対前年度増減率	+8.8%	+11.4%	+8.2%	+3.9%	+9.3%
	対元年度増減率	+13.2%	+8.1%	+14.8%	+14.3%	+16.6%

注1) 件数、日数の合計には、調剤分を含まない。

注2) 調剤の日数とは、処方箋の受付回数である。

注3) 食事・生活療養費を含まない。

電子レセプトの診療諸率

		合計	医科入院	医科入院外	歯科	調剤
1件当たり点数	令和元年度	2,296	49,778	1,184	1,178	934
	令和2年度	2,448	52,836	1,262	1,259	1,017
	令和3年度	2,447	53,756	1,305	1,234	994
	令和4年度	2,452	55,015	1,352	1,235	963
	令和5年度	2,446	56,126	1,300	1,231	962
	対前年度増減率	▲0.2%	+2.0%	▲3.8%	▲0.3%	▲0.1%
	対元年度増減率	+6.5%	+12.8%	+9.8%	+4.6%	+3.0%
1件当たり日数	令和元年度	1.61	11.41	1.43	1.64	1.22
	令和2年度	1.60	11.69	1.42	1.65	1.19
	令和3年度	1.57	11.26	1.41	1.58	1.19
	令和4年度	1.54	11.04	1.39	1.53	1.18
	令和5年度	1.52	11.01	1.38	1.50	1.18
	対前年度増減率	▲1.3%	▲0.2%	▲1.1%	▲2.0%	+0.4%
	対元年度増減率	▲5.7%	▲3.5%	▲3.8%	▲8.7%	▲2.8%
1日当たり点数	令和元年度	1,428	4,361	827	717	768
	令和2年度	1,527	4,521	890	764	856
	令和3年度	1,558	4,776	926	783	838
	令和4年度	1,597	4,985	971	807	818
	令和5年度	1,614	5,098	944	821	815
	対前年度増減率	+1.0%	+2.3%	▲2.7%	+1.8%	▲0.4%
	対元年度増減率	+13.0%	+16.9%	+14.2%	+14.5%	+6.0%
(再掲) コロナ関連点数を除く	令和元年度	1,428	4,359	827	717	768
	令和2年度	1,512	4,463	877	763	856
	令和3年度	1,500	4,575	871	779	834
	令和4年度	1,507	4,766	876	807	807
	令和5年度	1,566	5,012	900	821	795
	対前年度増減率	+3.9%	+5.2%	+2.7%	+1.8%	▲1.6%
	対元年度増減率	+9.6%	+15.0%	+8.8%	+14.5%	+3.4%

注1) 調剤の日数とは、処方箋の受付回数である。

注2) 食事・生活療養費を含まない。

医科入院外電子レセプトの件数・点数（診療所の診療科別）

医科入院外				
			病院	診療所
件数（万件）	令和元年度	50,471	10,742	39,729
	令和2年度	44,921	9,639	35,282
	令和3年度	48,485	10,375	38,110
	令和4年度	51,958	10,821	41,136
	令和5年度	55,373	10,703	44,670
	対前年度増減率	+6.6%	▲1.1%	+8.6%
	対元年度増減率	+9.7%	▲0.4%	+12.4%
点数（億点）	令和元年度	5,976	2,422	3,554
	令和2年度	5,669	2,364	3,305
	令和3年度	6,329	2,588	3,741
	令和4年度	7,025	2,724	4,301
	令和5年度	7,201	2,753	4,448
	対前年度増減率	+2.5%	+1.1%	+3.4%
	対元年度増減率	+20.5%	+13.7%	+25.1%

医科入院外診療所の件数及び点数の増減要因

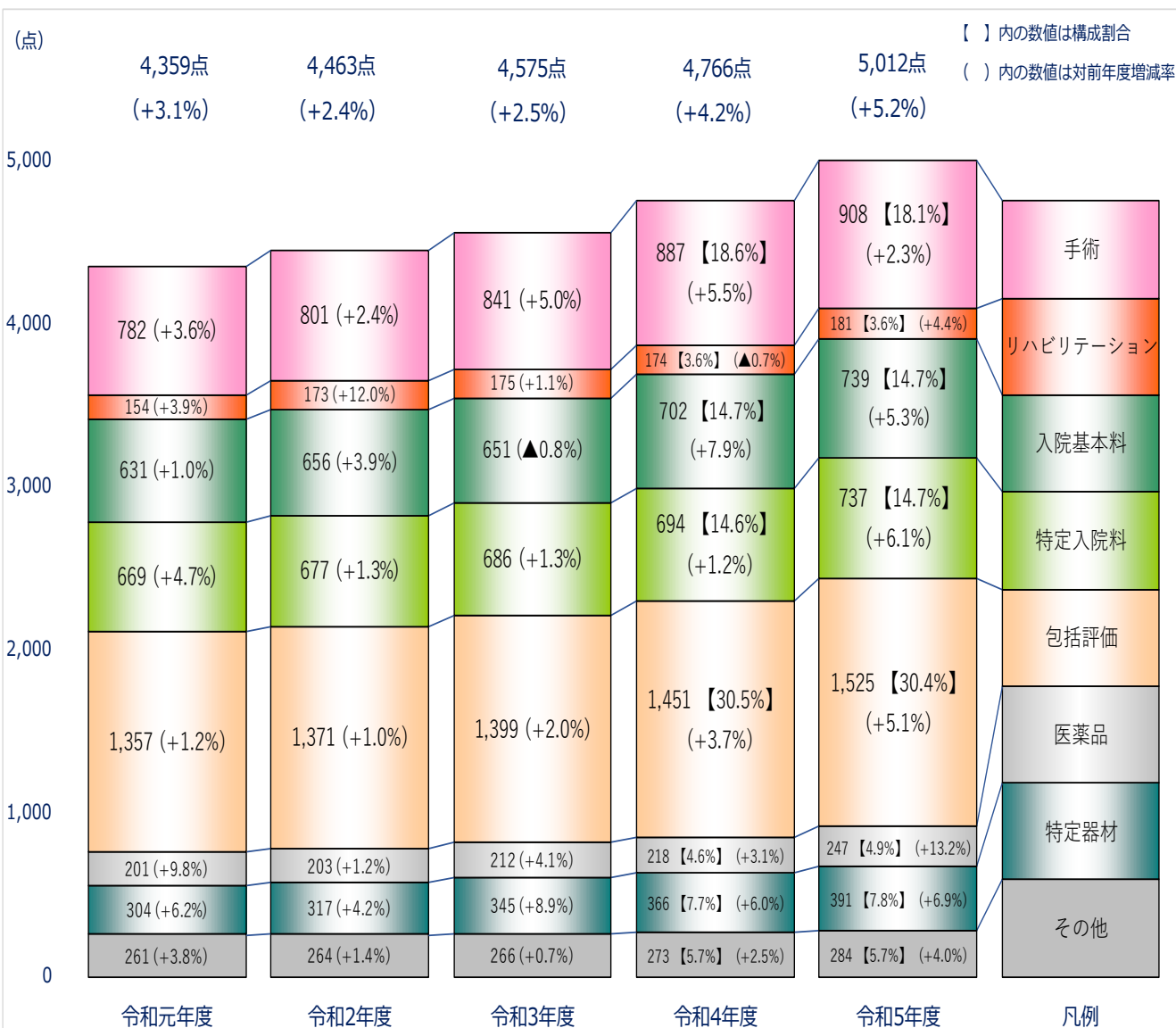
- ・件数は令和4年度より8.6%増加
- ・診療科別にみると、インフルエンザの流行により、特に耳鼻咽喉科18.1%、小児科17.5%、内科10.9%の伸び率が高い
- ・点数は令和4年度より3.4%増加
- ・診療科別にみると、特に耳鼻咽喉科10.2%の伸び率が高い
- ・小児科について、件数の伸び率17.5%に対し、点数の伸び率が0.9%に留まっているのは、院内トリアージ実施料（診療報酬上臨時的取扱）や二類感染症患者入院診療加算（外来診療・診療報酬上臨時的取扱）の算定回数減少の影響
[寄与度は各々▲7.5%、▲6.3%]

〔医科入院外診療所の診療科別内訳〕

		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
件数（万件）	令和元年度	13,693	3,404	1,079	3,306	4,351	1,578	3,968	4,305	4,045
	令和2年度	11,665	2,489	917	3,201	4,403	1,568	3,677	3,347	4,015
	令和3年度	12,772	3,033	931	3,475	4,397	1,691	3,845	3,593	4,374
	令和4年度	14,034	3,550	980	3,613	4,371	1,798	3,976	4,181	4,633
	令和5年度	15,571	4,172	995	3,711	4,477	1,852	4,044	4,939	4,910
	対前年度増減率	+10.9%	+17.5%	+1.5%	+2.7%	+2.4%	+3.0%	+1.7%	+18.1%	+6.0%
	対元年度増減率	+13.7%	+22.6%	▲7.8%	+12.2%	+2.9%	+17.4%	+1.9%	+14.7%	+21.4%
点数（億点）	令和元年度	1,437	283	125	338	217	146	283	284	440
	令和2年度	1,325	220	110	338	220	149	278	225	440
	令和3年度	1,520	320	115	365	223	160	297	261	480
	令和4年度	1,756	419	126	378	219	258	311	324	511
	令和5年度	1,800	423	122	389	228	273	326	357	530
	対前年度増減率	+2.5%	+0.9%	▲3.0%	+3.1%	+4.2%	+5.8%	+4.7%	+10.2%	+3.8%
	対元年度増減率	+25.2%	+49.2%	▲2.1%	+15.0%	+5.0%	+86.5%	+14.9%	+25.8%	+20.6%

注）食事・生活療養費は含まない。

電子レセプト 医科入院 1日当たり点数の診療行為大分類別推移 (コロナ関連点数除く)



令和5年度における主な増減要因

【入院基本料】の増加 (+5.3%)

- 令和4年10月1日適用となった看護職員処遇改善評価料の算定回数増加の影響 [寄与度 +2.3%]

R4 2,003万回 ⇒ R5 4,733万回 増減率 +136.3%

- 急性期充実体制加算の算定回数増加の影響 [寄与度 +1.0%]

R4 410万回 ⇒ R5 595万回 増減率 +45.0%

【特定入院料】の増加 (+6.1%)

- 小児入院医療管理料の算定回数増加の影響 [寄与度 +2.0%]

R4 321万回 ⇒ R5 396万回 増減率 +23.4%

【包括評価】の増加 (+5.1%)

- 診断群分類上2桁『04』（呼吸器系疾患）の算定日数増加の影響 [寄与度 +1.7%]

- 診断群分類上2桁『13』（血液・造血器・免疫臓器の疾患）の算定日数増加の影響 [寄与度 +0.8%]

【医薬品】の増加 (+13.2%)

- 腫瘍用薬（薬効分類429 イミフィンジ注射薬（小細胞肺癌）・キイトルーダ注射薬（乳癌・非小細胞肺癌）等）の延数量増加の影響 [寄与度 +4.3%]

イミフィンジ R4 1.0万瓶 ⇒ R5 2.0万瓶 増減率 +93.0%
キイトルーダ R4 3.0万瓶 ⇒ R5 4.1万瓶 増減率 +35.9%

注1) 構成割合の3%未満の診療行為大分類は「その他」に集計

注2) コロナ関連点数は除く

電子レセプト 医科入院外 1日当たり点数の診療行為大分類別推移 (コロナ関連点数除く)

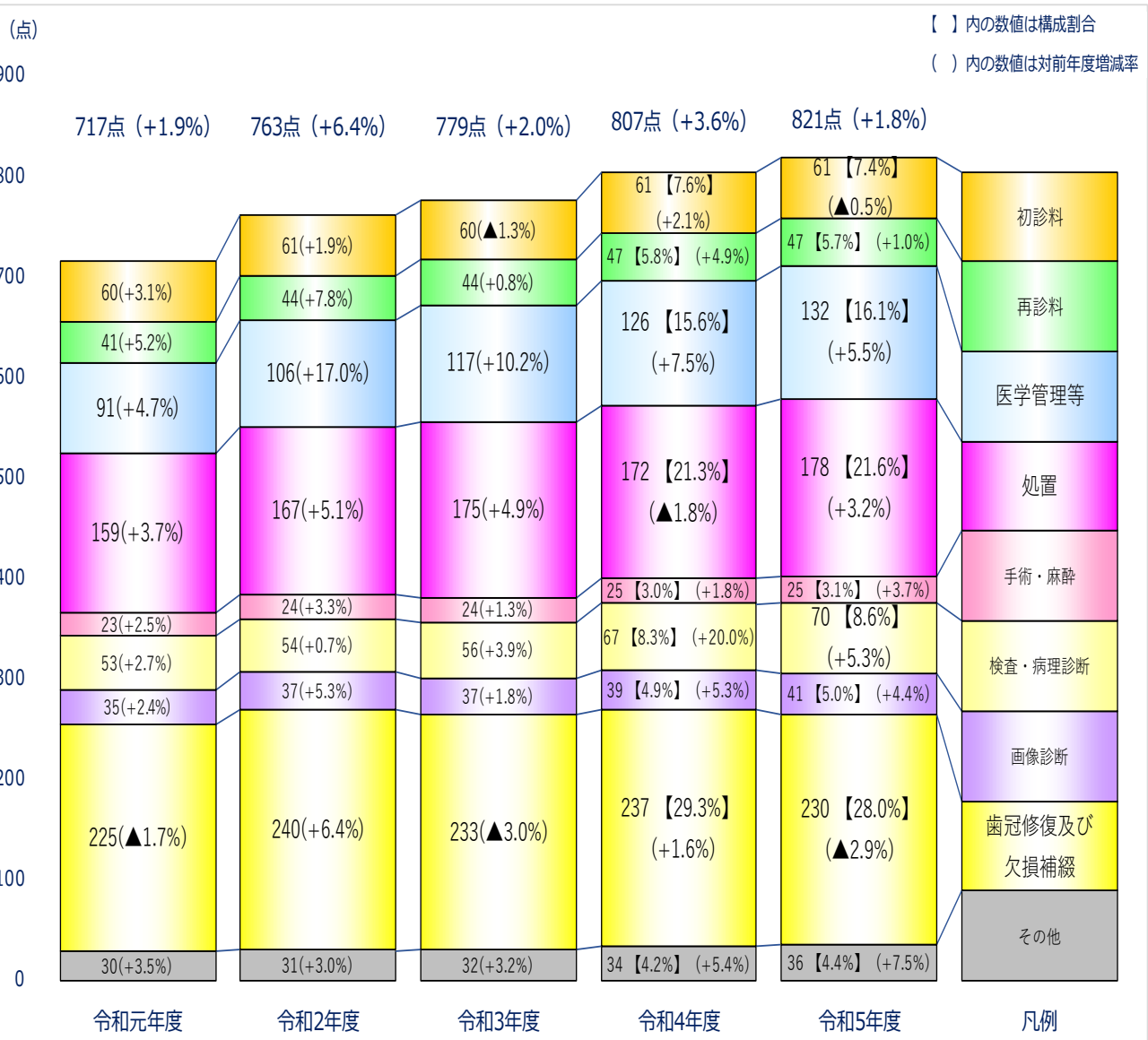


注1) 構成割合の3%未満の診療行為大分類は「その他」に集計
注2) コロナ関連点数は除く

令和5年度における主な増減要因

- 【初診料】の増加 (+8.7%)**
全体的な (特に未成年) 算定回数増加の影響
[寄与度 +6.6%]
R4 1.6億回 ⇒ R5 1.8億回 増減率 +13.2%
- 【投薬・注射】の増加 (+5.9%)**
処方箋料の算定回数増加の影響
[寄与度 +4.9%]
R4 3.6億回 ⇒ R5 4.1億回 増減率 +13.7%
- 【検査・病理診断】の増加 (+6.4%)**
・インフルエンザウイルス検査の算定回数増加の影響
[寄与度 +1.1%]
R4 444万回 ⇒ R5 1,449万回 増減率 +225.7%
・免疫学的検査判断料の算定回数増加及び公費28の対象外となった影響
[寄与度 +4.7%]
- 算定回数の推移** (単位: 万回)
- | | 令和4年度 | 令和5年度 | 増減率 (%) |
|--------|-------|-------|---------|
| 公費28以外 | 3,602 | 7,919 | 119.8 |
| 公費28 | 2,548 | 172 | ▲93.3 |
| 計 | 6,150 | 8,091 | 31.5 |
- 【医薬品】の増加 (+2.6%)**
・ユルトミリス注射薬 (発作性夜間ヘモグロビン尿症) の延数量増加の影響
[寄与度 +1.2%]
R4 2.2万瓶 ⇒ R5 4.1万瓶 増減率 +83.2%
・イミフィンジ注射薬の延数量増加の影響
[寄与度 +1.0%]
R4 9.7万瓶 ⇒ R5 11.7万瓶 増減率 +20.3%

電子レセプト 歯科 1日当たり点数の診療行為大分類別推移 (コロナ関連点数除く)



令和5年度における主な増減要因

【医学管理等】の増加 (+5.5%)

歯科疾患管理料とその加算（長期管理加算、エナメル質初期う蝕管理加算）及び歯科衛生実地指導料の算定回数増加の影響

算定回数(万回)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減率(%)	寄与度(%)
歯科疾患管理料	11,047	10,728	11,649	11,993	12,560	4.7	1.2
長期管理加算	-	3,088	3,956	4,389	4,864	10.8	1.7
エナメル質初期う蝕管理加算	434	511	638	797	946	18.8	1.3
歯科衛生実地指導料	6,980	6,754	7,463	7,795	8,250	5.8	0.9

【歯冠修復及び欠損補綴】の減少 (▲2.9%)

CAD/CAMについては増加したものの、金パラ価格の改定により、材料に係る点数が全体では減少 [寄与度 ▲2.3%]

材料	算定回数 (万回)			1回当たり点数			寄与度(%)
	令和4年度	令和5年度	増減率(%)	令和4年度	令和5年度	増減率(%)	
CAD/CAM	340	379	11.7	258.5	261.7	1.3	0.2
金パラ	1,120	1,143	2.0	972.8	866.2	▲11.0	▲2.4
その他材料	9,132	9,178	0.5	23.7	23.6	▲0.3	▲0.1
計	10,592	10,700	1.0	131.6	122.1	▲7.3	▲2.3

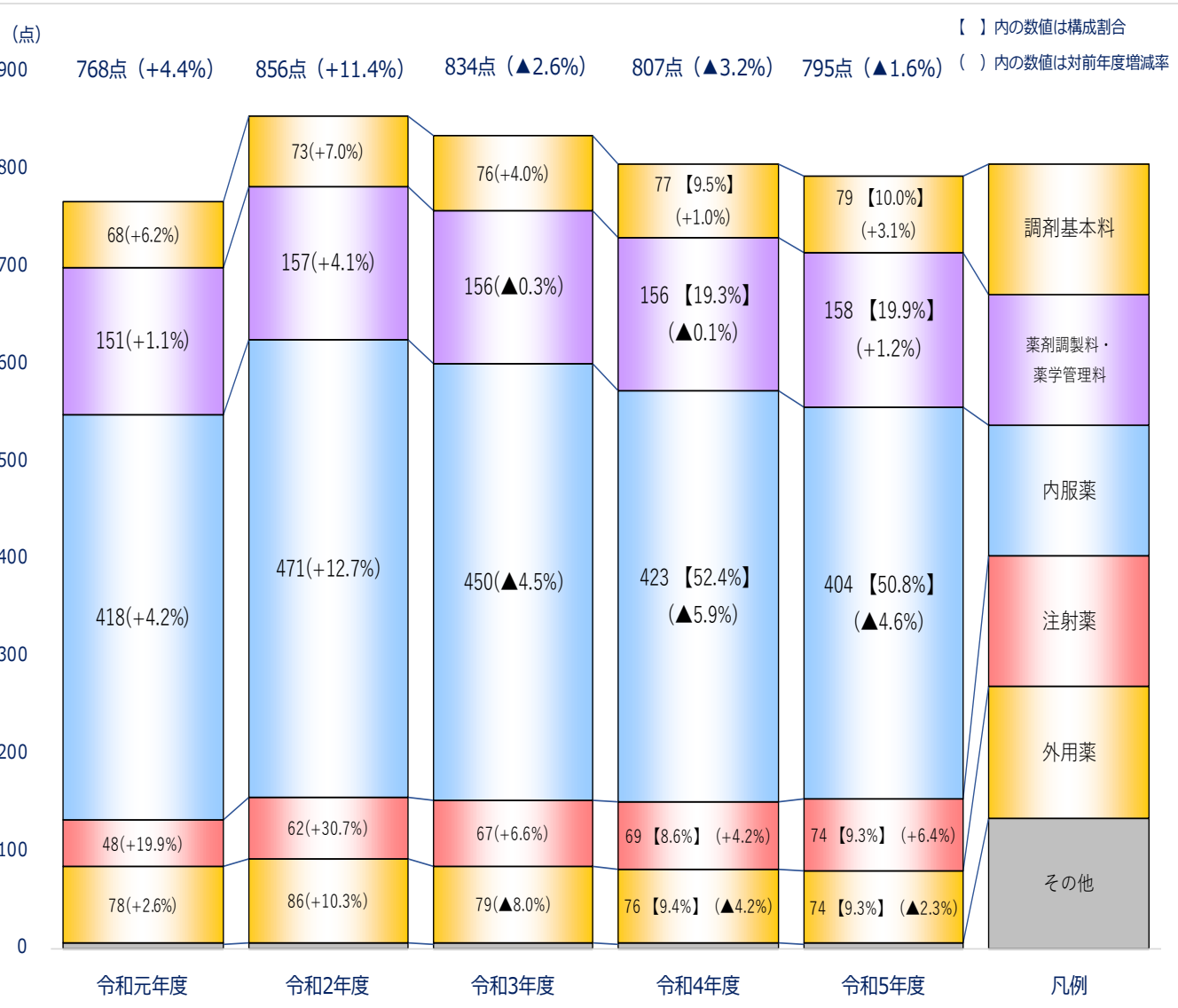
【参考】 歯科鑄造用金銀パラジウム合金（金12%以上 JIS適合品）1グラム当たりの金額

診療年月	4月	5~6月	7~9月	10~12月	1~3月	単純平均	増減率(%)
令和4年度	3,149	3,413	3,715	3,481	3,711	3,558	-
令和5年度	3,391	3,077	3,095	3,037	3,150	3,150	▲11.5

注1) 構成割合の3%未満の診療行為大分類は「その他」に集計

注2) コロナ関連点数は除く

電子レセプト 調剤 1日当たり点数の診療行為大分類別推移 (コロナ関連点数除く)



注1) 構成割合の3%未満の診療行為大分類は「その他」に集計
注2) コロナ関連点数は除く
注3) 薬剤調製料は令和3年度までは調剤料である

令和5年度における主な増減要因

【調剤基本料】の増加 (+3.1%)
後発医薬品調剤体制加算のシェア変動の影響
[寄与度 +2.7%]

算定回数の推移 (百万回)

名称	調剤数量 割合	点数	令和4年度		令和5年度		増減率 (%)
			回数	構成 割合(%)	回数	構成 割合(%)	
加算1	80%以上	21	82	27.6	78	21.8	▲ 5.2
加算2	85%以上	28	131	43.8	147	41.0	12.5
加算3	90%以上	30	85	28.6	134	37.2	56.5
計			299	100.0	359	100.0	20.2

【内服薬】の減少 (▲4.6%)
投与日数の減少と令和5年度の薬価改定
(引下げ)の影響

	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	増減率 (%)
1日当たり延べ薬剤数	2.5	2.3	2.3	2.3	2.4	5.4
延べ薬剤数当たり 投与日数	21.1	25.5	25.2	25.2	23.1	▲ 8.2
投与日数当たり点数	8.1	7.9	7.6	7.3	7.2	▲ 1.4

【注射薬】の増加 (+6.4%)
・ボックスゾゴ注射薬（骨端線閉鎖を伴わない軟骨無形成症）の延数量増加の影響
[寄与度 +3.7%]
R4 2.4万瓶 ⇒ R5 11.9万瓶 増減率 +389.3%
・デュピクセント注射薬（アトピー性皮膚炎等）の延数量増加の影響
[寄与度 +3.1%]
R4 49.5万キット ⇒ R5 73.4万キット 増減率 +48.2%